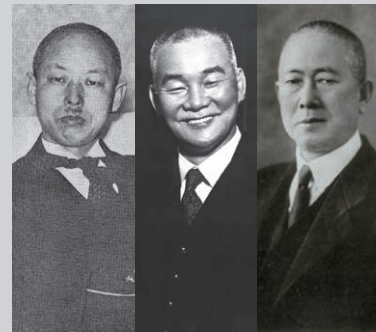


大正期〜昭和初期

新興コンツェルンの台頭

明治期の財閥は経営を多角化した。化学分野には出遅れていた。その間隙を突いて、多数の新興企業が明治末期から大正期にかけて、肥料や薬・食品などの化学産業に進出する中から、巨大化した「新興コンツェルン」が昭和初期に台頭します。とりわけ、「日室(チッソ)コンツェルン」の野口遵氏、「森(昭和電工)コンツェルン」の森蠡和氏、「日産コンツェルン」の鮎川義介氏は「財界新人三羽鳥」と称され活躍しました。



▲ 財界新人三羽鳥(右から野口・森・鮎川)
(右から、出典「日本窒素肥料事業大綱」〔日本窒素肥料社〕、「昭和電工五十年史」〔昭和電工〕、「日産コンツェルン讀本」〔和田日出吉著・春秋社〕)

新興コンツェルンによる化学産業を牽引したのは日室コンツェルンで、水力発電ダムから化学工場へ電気を供給して、まずは化学肥料の製造からスタートし、やがて有機化学分野へと進

出します。森(昭和電工)コンツェルンもそれを追いかけますが、両社とも戦後に肥料部門の不振から、石油化学が確立するまでのつなぎ役として有機化学部門の増産に拍車をかけ、水俣病の発生へと至つてしまいました。

昭和30年代

戦後の石油化学への転換

戦後、旧財閥系企業群は、出遅れていた化学分野への本格的な進出を企図します。

折しも、昭和20年代後半の日本では、石油を基盤とした産業構造への転換が模索され、石油化学施設を備えていた陸海軍の各燃料廠跡をめぐり、争奪戦が繰り広げられていました。結果的に、これらの施設は旧財閥系に有利に差配され、続々と石油化学コンビナートが建設されました。



▲ 旧三菱系の企業群が中心となって進出した四日市の第一コンビナート
(出典「四日市市史」〔四日市市〕)

しかし、四日市の第二海軍燃料廠跡に建設された、旧三菱系企業群を主とする石油化学コンビナートが大気汚染を深刻化させ、四日市ぜんそくの発生へとつながっていました。

阿賀野川流域では…

鉱山や電気化学への進出

最後に、阿賀流域における、近代産業の光と影の痕跡を確認します。まず筆頭は、古河財閥の礎を築いた古河市兵衛氏が最初に手がけた草倉銅山で、一時は全国第2位の産銅量を誇り、草倉の利益が足尾銅山の初期の開発も支えました。

その後、昭和初期に、新興コンツェルンも阿賀流域への進出を図ります。まず、森蠡和氏が建設責任者を担った鹿瀬ダムが完成し、その電力の供給先として、化学肥料を製造する鹿瀬工場が建設されました。

一方、鮎川義介氏率いる日産コンツェルンの中核企業だった日本鉱業(株)(現JXTGホールディングス)も、かつて大谷金山と呼ばれていた三川鉱山の経営に乗り出し、昭和30年代まで操業が続けられました。



令和元年度 阿賀野川流域 ロバダン!マップ

「ロバダン! (炉端談義)」の開催状況(平成31年4月〜令和2年3月)が一目でわかるマップ。令和元年度はFM事業&阿賀野川エコミュージアムを合わせて、44件開催しました。

…
…

- | | | | |
|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 1 資料整備ロバダン 1 | 12 資料整備ロバダン 5 | 1 流域鉱山ロバダン 1 | 12 産業体験ロバダン 4 |
| 2 資料整備ロバダン 2 | 13 次世代伝承ロバダン 3 | 2 流域スポットロバダン 1 | 13 流域水利用ロバダン 1 |
| 3 流域歴史ロバダン 1 | 14 次世代伝承ロバダン 4 | 3 流域食材ロバダン 1 | 14 産業体験ロバダン 5 |
| 4 被害者交流ロバダン 1 | 15 被害者交流ロバダン 2 | 4 流域鉱山ロバダン 2 | 15 流域歴史ロバダン |
| 5 資料整備ロバダン 3 | 16 阿賀野川川業ロバダン | 5 環境ツアーロバダン | 16 流域水利用ロバダン 2 |
| 6 次世代伝承ロバダン 1 | 17 流域歴史ロバダン 2 | 6 流域鉱山ロバダン 3 | 17 流域水利用ロバダン 3 |
| 7 資料整備ロバダン 4 | 18 環境ツアーロバダン 3 | 7 流域スポットロバダン 2 | 18 流域水利用ロバダン 4 |
| 8 次世代伝承ロバダン 2 | 19 環境ツアーロバダン 4 | 8 流域スポットロバダン 3 | 19 流域鉱山ロバダン 4 |
| 9 環境ツアーロバダン 1 | 20 資料整備ロバダン 6 | 9 産業体験ロバダン 1 | 20 流域鉱山ロバダン 5 |
| 10 鹿瀬昔語りロバダン | 21 CSR 研修ロバダン | 10 産業体験ロバダン 2 | 21 流域食材ロバダン 2 |
| 11 環境ツアーロバダン 2 | 22 次世代伝承ロバダン 5 | 11 産業体験ロバダン 3 | 22 流域鉱山ロバダン 6 |

新しい学習用教材が完成!

昨年度制作した「紙芝居教材『阿賀の近代産業ものがたり』副読本」に続き、「新潟水俣病の被害原因その後を知ろう」が、新潟市などが中心となって作成し、ようやく完成しました!

新潟水俣病を含む四大公害は、小学5年社会の教科書で学びますが新潟県以外の地域の公害事例が扱われています。この教材は、小学5年社会の教科書の時間に、新潟水俣病を学べるように制作されました。



新潟水俣病の学習用教材が完成!



11/17(日) 三川鉱山&草倉銅山めぐり

当日35名参加 開催レポート!

阿賀流域の近代産業の事例を視察するため、三川鉱山&草倉銅山の現地視察を開催しました! 特に三川鉱山の現地視察は珍しく、当日は三川鉱山に詳しい地元有識者の吉澤荘一さんからガイドしていただきました!



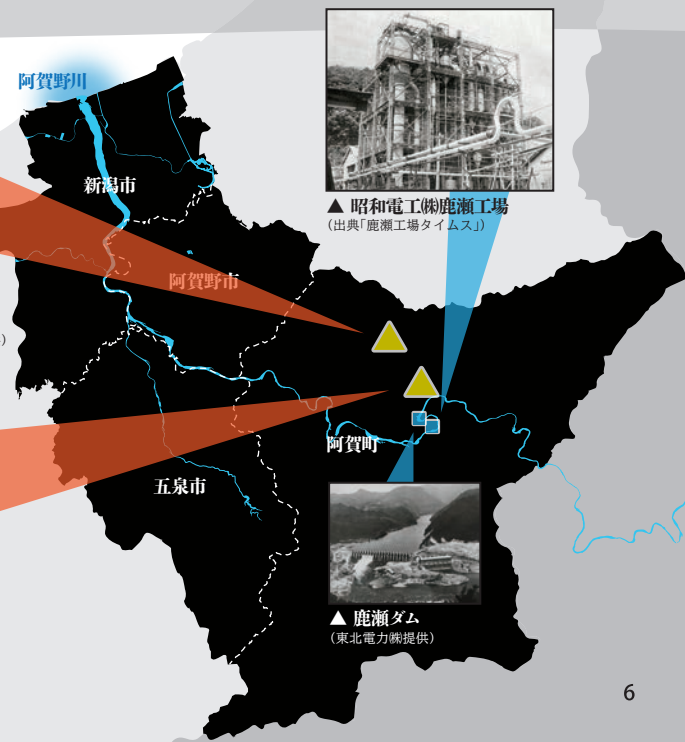
(片桐淳氏撮影)



▲ 三川鉱山の選鉱場 (吉澤荘一氏提供)



▲ 草倉銅山の本山 (小野崎敬氏提供)



▲ 昭和電工(株)鹿瀬工場
(出典「鹿瀬工場タイムス」)



▲ 鹿瀬ダム
(東北電力提供)